

第54回 札幌支部高等学校テニス選手権大会

兼 第64回 北海道高等学校テニス選手権大会札幌支部予選会

開 催 要 項

- 1 主 催 北海道高等学校体育連盟札幌支部・札幌テニス協会
- 2 主 管 北海道高等学校体育連盟札幌支部テニス専門部
- 3 当 番 校 札幌静修高等学校
- 4 期 日 令和6年5月20日(月)、21日(火)、22日(水)、23日(木)、[予備日24日(金)]
9時00分試合開始予定。雨天で試合が延びたときは別途対応する。
- 5 開閉会式 開会式は監督主将会議後に行う。閉会式は5月23日(木)の大会最終日を予定。
ただし、閉会式においては参加人数を制限する場合もある。
- 6 会 場 第1日目から第4日目まで、男女とも北海道立野幌総合運動公園テニスコート
- 7 参加資格
 - ① 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在籍し、平成17年(2005年)4月2日以降に生まれた者であること。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ② 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、北海道高等学校体育連盟札幌支部長の許可があればこの限りでない。
 - ③ 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け学校長が本大会の参加を認めた者とする。
 - ④ 全日制と定時制の混合チーム及び混合ダブルスは認めない。
 - ⑤ 主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意思のある者。
- 8 申込方法 所定の様式の電子メールを5月2日(木)から8日(水)12時までにテニス専門部ホームページの案内に従い送ること。メールの申し込みをもって正式な受付とする。締め切りを過ぎたあとの変更は認められない(申し込み用紙はホームページより取り出して使用)。また、職印のある申込書は監督会議の際に提出すること。
【高体連札幌支部テニス専門部ホームページアドレス】
<http://www.tennisen-sapporo.hokkaido-c.ed.jp/>
- 9 参 加 料 登録者1名につき500円を、また「全国高等学校体育連盟テニス専門部負担金」として男女それぞれ1校につき700円を監督主将会議の会場受付にて提出すること。
- 10 使 用 球 男女共ウィルソン・USオープン・エキストラ・デューティ。団体の部用1チーム(男・女)各6個、個人の部用ダブルス1組・シングルス1名につき各2個を使用する。団体の部については大会当日持参し、試合の際各学校でボールを持ち寄り、試合終了後勝った学校が未使用球を、負けた学校が使用球を持ち帰る。個人の部については監督会議の会場受付にて提出すること。(男女ともフルエントリーの場合は主将会議時に20個)
- 11 団体の部チーム編成
 - ① 監督、外部指導者、マネージャー1名、及び選手は4名以上5名以内とし、実力順に登録する。
 - ② 監督は当該学校の教職員もしくは外部指導者(コーチ)とする。
 - ③ 外部指導者(コーチ)は非常勤講師、スポーツクラブ指導者、当該校の卒業生・保護者等で学校長が認めた者で、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入している者に限る。一人の外部指導者が複数校の外部指導者として申請することはできない。外部コーチの申請は、別紙「外部コーチ申請書」を提出すること(年度初めに提出している場合は改めて提出する必要はない)。
- 12 競技規則 国際テニス連盟(ITF)規則に準ずる。
- 13 競技方法【団体の部】
 - ① ダブルス1組、シングルス2名の対抗トーナメントとし、6ゲーム先取の1セットマッチを原則とする。なお6ゲームズオールの場合はITF方式タイブレーク(7ポイント先取)を採用する。
 - ② シングルスの実力順位でNo.1からNo.5までの5人を登録することができる。ダブルスは5人の中から任意に1組作り、シングルスは残りの3人のうちどの2人が出場してもよいが、登録の順位に従ってオーダーを提出しなければならない。シングルスとダブルスを同一選手が兼ねることはできない。

- ③ 試合は、ダブルス→シングルス1→シングルス2の順で行い、勝ち点2をあげたチームを勝ちとする。ただし初回戦に限っては、原則として勝敗が決まっても3試合とも行う。

【個人の部】

- ① ダブルス2組、シングルス3名で実力順に申し込むこと。（団体の部に登録していない者の参加も認める）
② ダブルス・シングルスともトーナメント戦とし、6ゲーム先取の1セットマッチで行う。6ゲームズオールの場合は、ITF方式タイブレーク（7ポイント先取）を採用する。

14 全道大会への出場について

令和6年度全道大会（第64回北海道高等学校テニス選手権大会）は、6月17日から釧路市釧路市民コートにて開催予定。
詳細は北海道高体連テニス専門部の決定による。

15 監督主将会議について

令和6年5月16日(木)14時 札幌静修高等学校
申込用紙の提出、参加料及び大会使用球の受付、組合せ抽選会、諸連絡を行うので、必ず出席すること。

16 その他

- ① 団体の部の登録変更および個人の部の選手変更については、その種目の初日の朝の顧問打合せまでとする。校長印を押した変更届けを提出すること。（様式を問わない）
② 審判はSCU方式で行い、原則として前の試合の敗者本人がそれに当たるものとする。
③ コートには競技者とシングルスでのボールパーソン以外入ることはできない。ただし団体の部では、登録された監督（もしくは顧問、外部コーチ）または選手がベンチに入り、エンドチェンジの際の90秒間に限ってコーチングを行うことができる。
④ 団体の部・個人の部とも練習は各サイドのサーブ2本ずつとし、それ以外は認めない。
⑤ 各校出場選手の服装はテニスウェアとし、校名入りのマークを腰の見やすい位置に付けること。
⑥ ガットマークは禁止する。
⑦ 事故・負傷などによる中断は3分以内とし、それ以上に及ぶ場合はレフェリーの判断による。
⑧ コールされてから5分以内にコートに入らなければ失格となる場合がある。
※ 試合・審判のある選手は会場を離れてはならない。
⑨ 大会は高等学校教育の一貫であることを踏まえていることから、著しく他に影響を与えるような頭髪の染色や華美な装飾品の着用（ピアス・アクセサリ等）は認めない。
⑩ 大会における全ての事項についての質疑は監督（もしくは顧問）に限られる。